



# まちがど トピックス



©ORIX Buffaloes



## ■熱戦、プロ野球公式戦。選手とふれあい、笑顔がいっぱい！

7月23日、24日、富田林バッファローズスタジアムで、富田林ドリームフェスティバル、ウエスタン・リーグ公式戦「オリックス・バッファローズ対広島東洋カープ」が開催され、2日間にわたって熱戦が繰り広げられました。

当日、観客から選ばれた2人での始球式や小学生のベースランニング、オリックスの選手とバーベキューが楽しめる「夕空のバーベキュー」など選手とふれあえるイベントも実施されました。



## ■真夏の夜空が色鮮やかに

8月1日、毎年恒例のPL花火芸術が開催されました。

年に一度の夏の風物詩を楽しもうと訪れた観客らは、色とりどりに輝く花火に酔いしれていました。

なかでもフィナーレを飾る、数千発の花火が絶え間なく打ち上げられる「スターマイン」に富田林の夜空が明るく照らされると、地響きとともに歓声と拍手が自然と湧きあがりました。

## ■科学の面白さに興味津々

7月29日、東公民館で、夏休み子ども教室「かがくクラブvol.51」が開催されました。

CDを使ったコマ作りでは、年上の子が年下の子に上手な作り方を教えてあげる姿や、完成したコマを使って早速友達同士で楽しそうに遊ぶ姿が見られました。

また、ドライアイスの特性を生かしたさまざまな実験に「これってどうなってるの？」と子どもたちは興味津々で見入っていました。



# 写真とともに見る7月～8月のできごと



## ■南河内の鉄道唱歌を合唱

7月8日、すばるホールで、明治時代に作られた鉄道唱歌「南河汽車の旅」を歌うコンサートが開催されました。これは、富田林駅をスタートし、柏原駅～現在のJR難波駅～河内長野駅を環状に巡る旅を47番まで歌詞をつけたもので、歌詞には、金剛山や石川、喜志駅周辺の名所などが織り込まれています。

テンポの良い曲調に、蒸気機関車の車窓から見えるのどかな風景が目浮かぶようでした。

## ■寺内町について考える

7月30日、金剛公民館で、「寺内町の魅力を探る～その歴史とこれから～」が開催されました。第一部の大阪府立大学名誉教授の山中 浩之さんによる講演では、江戸時代の寺内町の文化についての話がありました。第二部では、山中教授や「富田林寺内町をまもり・そだてる会」「富田林ないまち文化トラスト」「LLPまちかつ」の皆さんによるパネルディスカッションがあり、今後の寺内町の在り方を考えました。



## ■今、わたしたちにできること

7月30日、喜志小学校グラウンドで開催された「喜志盆踊り」で、喜志町青年会が、平成28年熊本地震で大きな被害を受けた被災地の復興支援を目的とした募金活動と熊本県産品の販売をしました。ご当地人気キャラクター「くまモン」がデザインされた、かわいいパッケージのキャンディーやプリンは子どもたちに大人気で、大人も子どももみんなで被災地の応援をしました。

## ■いざ、全国大会へ

7月25日、硬式野球チーム「富田林リトルシニア」が、31日から東京都で開催される全国大会への出場報告に市役所を訪問しました。

関西大会では、優秀選手やベストナインに選ばれるなど、日々の練習の成果が実を結び見事6年ぶりに全国への切符を手に入れました。

選手たちは、「富田林という名前を全国に広めたい」と、元気よく話してくれました。

選手たちの今後の活躍に注目です！

